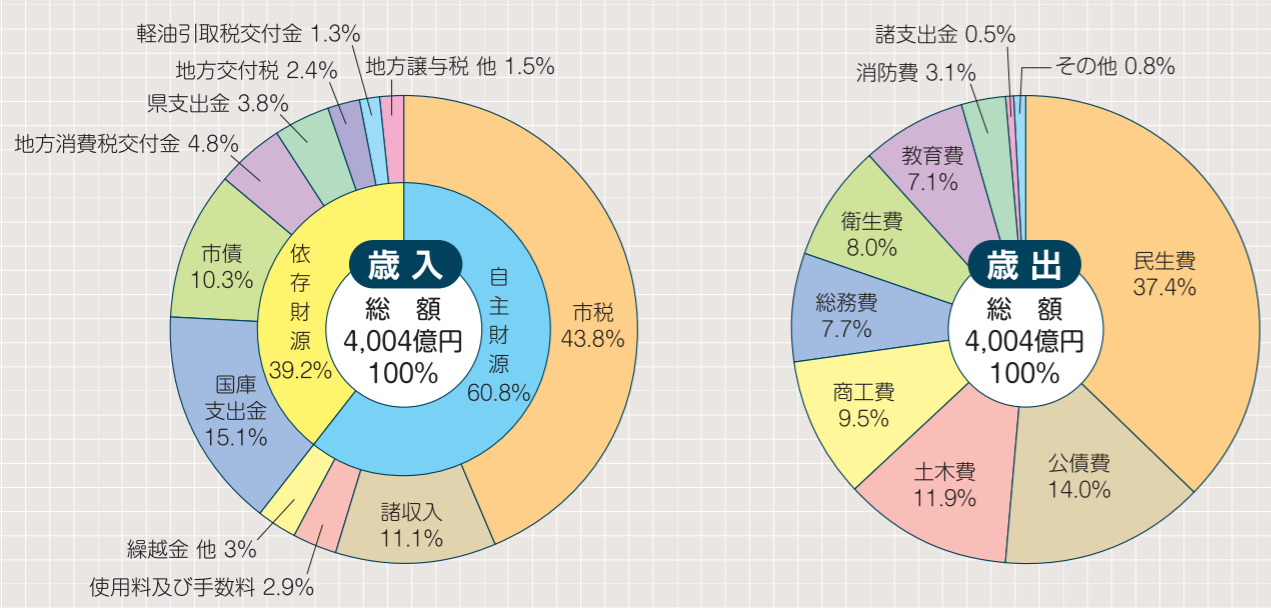


平成28年度の予算の概要

●一般会計予算の財政構造

歳入総額	4,004億円	(前年度比 102億円増 2.6%増)
内訳	自主財源	2,432億5,200万円 (前年度比 31億300万円増 1.3%増)
	依存財源	1,571億4,800万円 (前年度比 70億9,700万円増 4.7%増)

一般会計の主な構成割合



予算に対する公明党の意見

新年度予算案は、編成前に多額の収支不足が見込まれるなど厳しい予算編成の状況でありました。市議団として予算案を慎重に検討した結果、少子・超高齢化への対応や医療・健康づくり、市民サービス向上に向けての取り組みなど市民生活に密着した施策が推進されていることが確認できました。また、東京オリンピック・パラリンピック開催に向けた諸施策の拡充や中小企業の支援、将来を見据えたまちづくりなどにも予算が配分されており、一方で、財政の健全化や行政改革への取り組みも進められていることが確認できました。以上のこと等を踏まえ、総合的な観点から判断し、新年度予算案を評価すべきものとしたしました。

市政に関するご意見やご要望をお寄せください!

性別・年齢・お住まいについて(該当するものに○をおつけください。)

▶性別 男性 / 女性 ▶お住い 中央区・花見川区・稲毛区・若葉区・緑区・美浜区

▶年齢 20歳未満 / 20~39歳 / 40~59歳 / 60~74歳 / 75歳以上

お寄せいただいたご意見・ご要望については、政策提案等に役立てて参ります。 **FAX.043-245-5584**
公明党千葉市議会議員団 TEL.043-245-5483 http://gate.ruru.ne.jp/chibakomei/

公明党千葉市議会議員団

市議会だより



発行日/平成28年3月 発行/公明党千葉市議会議員団
 〒260-8722 千葉市中央区千葉港1-1

Topic

千葉市動物公園では、今春のオープンに向けた展示施設の整備を行っています。アフリカ平原ゾーンでは、県内では初めて2頭のライオンが展示されます。1頭はガラス越しの展示とし、迫力ある姿を間近で観察できます。もう1頭は、アフリカの平原をイメージした展示とし、奥行き8メートルの堀で隔てられて、自然の中で暮らす姿を観察することができます。ご期待ください。

ライオン展示場のオープンは4月28日(予定)です。



ライオンがくる!

千葉市動物公園に

子育てを応援!

不妊症対策の充実強化や、多子世帯に対する保育料の軽減および、ひとり親家庭への支援など、妊娠から子育てまで切れ目なく支援する施策が拡充され、新年度予算に盛り込まれました。(概要)

■特定不妊治療費助成が拡充

初回助成上限額	15万円/回 → 30万円/回
男性不妊治療費助成	上限15万円/回

■ひとり親世帯に支給される児童扶養手当が第2子から倍増

(平成28年12月支給から)

第1子	9910~4万2000円 (所得に応じて)
第2子	5000円 → 1万円 (上限額) 倍増
第3子以降	3000円 → 6000円 (上限額) 倍増

■高校の奨学給付金 第1子を増額 (非課税世帯)

(通信制、生活保護世帯は変更ありません)

公立高校	3万7400円 → 5万9500円
私立高校	3万9800円 → 6万7200円

■所得の低い多子世帯、ひとり親の保育料が軽減

多子世帯	◎第2子は第1子の半額、第3子以降は無償
	従来 子どもの数え方に年齢制限あり
	改善策 要件を撤廃 ※年収約360万円未満が対象
ひとり親	幼稚園で年収約270万円未満の住民税非課税世帯を無償化。同約360万円未満は幼・保とも第1子を半額、第2子以降は無償に



平成28年 第1回 定例会

公明党市議団の代表質疑より

新たな中小企業支援がスタート!



本市の企業支援については、集客プロモーションや企業誘致等で一定の効果が見えていますが、既存の中小企業に対しては、更なる支援が必要と判断し、事業者がより業績を伸ばせるよう新たな支援施策を求めました。

市長からは、新年度予算における新たな支援施策の狙いと概要について答弁があり、具体的には、経営者の世代交代、親族外への事業継承の支援を実施する。

さらには、業務に必要な技術、技能、知識の習得に向けた「人材づくり」のための各種研修について、市内中小企業の従業員などの受講を促進するための研修費用の助成を実施する旨などの回答がありました。

防犯街灯にもLEDを!

環境にやさしい低炭素社会構築のため、道路照明灯などのLED化を推進してきましたが、防犯街灯のLED化への取り組みについて伺いました。

副市長より、市内全域を2工区に分けて、4月以降順次設置工事に取り掛かり、平成28年度末には約4万9,000灯をLED化する予定であり、その効果は、年間約2億円の経費が削減されるとのこと。

また、自治会等の負担は、LED化に伴う電気料金の低下などから、年間1灯当たり、これまでの788円から530円程度になり、約32%の削減が見込まれるとの答弁がありました。



国道357号の渋滞解消! 市役所前の地下立体化完成



臨海部の幹線道路である国道357号は、朝夕の著しい渋滞と交通事故多発が長年の課題となっていました。

そうしたことから、千葉西警察署入口交差点からポートアリーナ前交差点までの約5.6kmを事業化し、登戸交差点から市役所交差点の地下立体化、平面区間における交差点改良や6車線化等の改良工事が行われ、昨年末に一部を除き開通の運びとなりました。

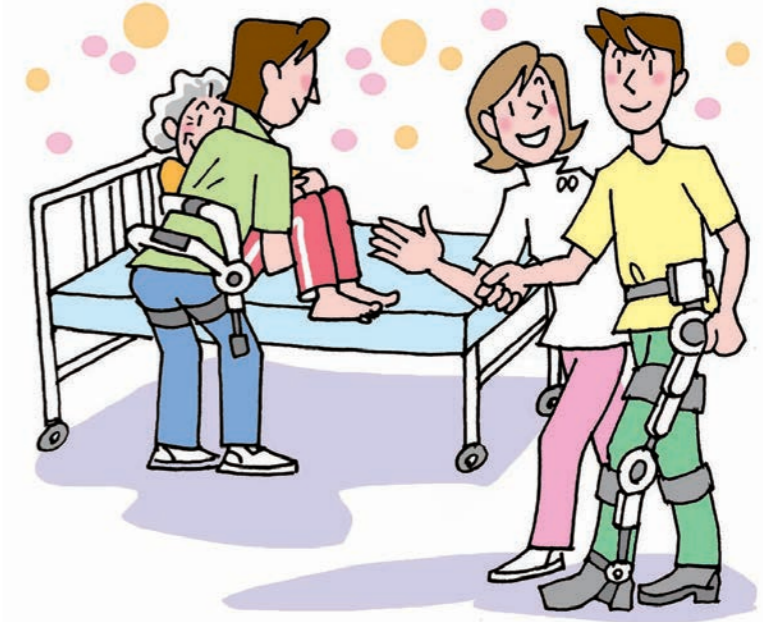
そこで、この工事の効果について尋ねたところ、副市長からは、同区間の所要時間が約3割短縮され、周辺道路の渋滞長も260mから30mに減少するなどの効果が出ており、蘇我地区の新規事業化についても要望しているとの答弁がありました。

介護ロボットを現場に導入!

千葉市の介護分野の人材確保や質の改善、さらには労働環境の改善へ向け、介護ロボット等の普及への取り組みについて質問しました。

市長からは、介護従事者の負担軽減に有効な介護ロボットの開発や低価格化が進んだこと、テレビニュースなどにより介護ロボットに対する一般の理解が進み、介護する側とされる側の抵抗感が少なくなったことなどから、導入を促進してまいります。

今後は、高齢者施策の方向性を定める「千葉市中長期的な高齢者施策の指針」において、介護力不足を補うための有力な手段として、介護ロボットを普及させる方針を定めるとともに、国の助成制度を活用して、ロボットの導入費用について介護施設などに助成を行う事業を実施するとの答弁がありました。



“千葉みなと”に新たな観光スポット!



千葉市の新たな魅力形成の取り組みとして行われている千葉中央港地区の港湾整備事業について質問しました。

市長からは、千葉港で初めてとなる旅客船専用の棧橋や港湾施設の一部が竣工し、4月15日に一部供用開始の予定であること、「旅客船ターミナル等複合施設」については、4月上旬までにシーフードレストランやカフェが、その後もダイビングショップなどが順次オープンし、遊覧船も年間を通して運行する予定であり、今後も高速ジェット船クルーズ、レストランクルーズ、季節ごとのイルミネーションなどの企画を検討しているとの答弁がありました。

子ども達の教育環境の改善を!

校舎等の耐震改修工事は、558億円の事業費で市内全小中学校で完了しています。課題となっている校舎等の老朽化対策、トイレ環境整備、普通教室へのエアコン設置の取り組みについて、財政需要の見込みを踏まえて質問しました。

教育長からは、学校施設の老朽化対策および環境改善等に係る予算は、国の補助金を有効に活用すること。トイレの便器の洋式化や、においの原因となる湿式床のドライ化等には、今後15年から20年で約105億円、音楽室等へのエアコン整備については、今後5年から6年で約10億円の財政需要を見込んでいること。更に、普通教室へのエアコン設置については、この音楽室等への設置が終了する段階を目途に、教育や健康面への影響およびコストなどを提示したうえで、適切な判断をする旨の答弁がありました。

